

体育（保健）

東 京 書 籍
大 日 本 図 書
文 教 社
光 文 書 院
学 研 み ら い

令和元年度

中高・飯水地区小中学校教科用図書採択研究協議会

(種目：保健)

採択基準	発行者名 東京書籍（新しい保健）
1 教科の目標からの配慮	・身近な生活から課題を自分事として捉え、様々な学習活動から他者との交流によって対話的な学習ができるよう配慮されている。 ・他学年や他教科との関連が示されており、学びをつなげ、健康の保持増進を目指していくことができるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 思考、判断したことを表現するために、1～4の各ステップの記述欄を広く設け、書き込みがしやすいように配慮されている。 (2) 全ての小単元が「気づき→調べる→伝える→まとめる」の4ステップで構成され、児童の主体的・対話的な学びをサポートするよう工夫され、1時間の見通しをもって学習を進めることができる。 (3) 学習の内容を他学年や他教科の学習に発展させることができるよう、つながりを章扉に明示する配慮がされている。 (4) 記述欄に例文が示されており、理解を深めたり見通しをもって学習したりすることができるよう工夫されている。 (5) 字体、配色、イラスト、写真、記入例など見やすくわかりやすいように工夫されていたり、追究方法別にマークが示されていたりするなど、書き込みやすく工夫され、学習の意欲を高められるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 学習指導要領に示された内容について系統的な順序で示され、児童が前年度の学習を踏まえて取り組めるよう配慮されている。 (2) 第4学年で「体の成長とわたし」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱うなど、つながりを意識して学習することができるよう工夫されている。 (3) 1時間の学習過程を「課題提示、学習方法の提示、思考・判断・表現、学習のまとめ・活用」となるように4ページを基本に構成し、主体的・対話的な学びにつながるよう工夫されている。 (4) 6年生の事故やけがの原因の挿絵は、子どもたちが様々な角度から危険箇所を見つけることができ、学習意欲や危険予測の意識が高まるよう工夫されている。 (5) 資料ページに豊富に写真やイラストが示されており、自分の考えを友達と交流しながら、学びを広げられるように工夫されている。 (6) 各単元の終わりに「もっと知りたい、もっと調べたい」ことを記述する欄が設けられ、単元の学習を振り返るとともに、更に学びを広げることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・学習過程を4ステップに沿って構成され、自分の考えを表現するためのスペースがあったり友達の考えに触れたりできるなど、主体的・対話的に進められるよう工夫されている。 ・資料やICTに対応できるコンテンツが豊富である。

(種目：保健)

発行者名 採択基準	大日本図書（たのしい保健）
1 教科の目標からの配慮	・導入場面で身近な生活から自分事として捉え、主体的に取り組めるように工夫され、自分や友達の考えを記入することで、対話的な学びが進むよう配慮されている。 ・単元のまとめとして知識や技能の定着を図る問題や活動がある。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 1時間の学習内容を見開きにまとめ、3・4年ではシールを活用するなど発達段階に即して、学年に応じた配慮がされている。 (2) 大単元の導入で、日常生活場面のイラストから健康・安全を視点に課題意識をもてるようにし、「話し合う」などの学習活動により主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。 (3) 不安や悩みを軽くする方法として、「体ほぐしの運動」の例を紹介したり、自分の経験を振り返ったりすることで、体育や生活と関連させて実感を伴って理解できるよう配慮されている。 (4) 役立つ知識や、関連する動画や資料のウェブサイトの紹介を掲載し、学習に広がりをもてるように工夫されている。 (5) イラストにより、学習内容の補足や既習内容の振り返りができ、身近なキャラクターの話など学習意欲を高められるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 学習指導要領のねらいに即して系統的な順序に配慮し、内容が網羅できるよう構成されている。 (2) 第4学年で「育ちゆく体とわたし」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱うなど、つながりを意識して学習することができるよう工夫されている。 (3) 1時間の中に、「話し合ってみよう」「やってみよう」「活用して深めよう」などの学習活動を位置づけ、関わり合いながら学習を進め、生活場面での実践化につながるよう工夫されている。 (4) 「けがの手当て」では、けがの程度に応じた行動や、軽いけがの手当てについて解説し、ウェブサイトも活用して実践に結び付けられるよう配慮されている。 (5) 写真やイラストを見開きページにまとめ、場面や状況をイメージしながら児童が理解しやすいよう工夫されている。 (6) 「活用して深めよう」を授業のまとめとして位置づけ、1時間ごとのまとめをするとともに、大単元全体の学習のあゆみを振り返られるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・大単元導入時の学習ゲームにより、絵から日常に潜む保健的な課題を見出し、多様な学習活動を通して資質・能力を育成しようとしている。 ・大単元の終末では記号と記述でまとめができるようにしている。

(種目：保健)

発行者名 採択基準	文教社（わたしたちの保健）
1 教科の目標からの配慮	・身近な生活行動や生活環境から課題を見つけ、「考える」「調べる」「話し合う」活動を位置づけ、対話的な活動への配慮がある。 ・単元のまとめで、これからの自分を記述する欄があり、実践につながられるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	(1) 身近な生活との関連を図って、日常生活での実践に結び付けることができるよう配慮されている。 (2) 単元のはじめに、生活場面をイメージしたイラストをもとに、自分の生活を振り返り、課題を明らかにして話し合うことを通して、主体的・対話的な学習ができるよう工夫されている。 (3) 「心の健康」では、学習活動の中にペアやみんなのできる運動を位置付けるなど、運動領域の「体ほぐしの運動」と関連させて学習できるように配慮されている。 (4) 養護教諭の説明や「情報コーナー」により、理解を深めながら、学習をすすめられるよう工夫されている。 (5) 小単元のまとめの背景を黄色にするとともに、大切な語句を太字で示すなど、見やすさや理解しやすいように配慮されている。またメモ欄の行数が多く、沢山の感想やまとめを書くことができる。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 学指導要領に示された内容について、4年間を見通した系統的な順序で示されている。 (2) 第4学年で「体の発育・発達」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱うなど、つながりを意識して学習することができるよう工夫されている。 (3) 事例などを用いたディスカッションやブレインストーミングにより、友達と相互に関わり合いながら主体的・対話的に学習できるよう配慮されている。 (4) 「けがの防止」では、自分やけがをした人への手当ての方法など、自助・共助・公助の観点から、学んだことを実践する大切さを意識できるように配慮されている。 (5) 脚注の「つぶやきくん」により、児童へのメッセージを記載し、学習意欲がもてるよう工夫されている。 (6) 各学年の章末に、「みんなで宣言しよう」の欄があり、単元の学習を振り返るとともに、これからの健康な生活に向き合えるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・各単元のはじめに日常生活を踏まえたイラストから課題を見つけ、追究しやすいように工夫されている。 ・学習したことを踏まえながら、今後の生活について考え、健康に対する意欲が高まるよう工夫されている。

(種目：保健)

採択基準	発行者名 光文書院（小学保健）
1 教科の目標からの配慮	・健康や安全に対する課題を自分事として捉え、話し合っ て考える活動や、自分の考えを伝える活動によって他者 との交流ができる。 ・児童が自分の興味や関心に応じて課題について考え たり、調べたりすることができるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘 意性 本文、見出し、設 問、提示文等の表 現、さし絵、写真、 図表、配色、コン トラスト等	(1) 原則1時間見開き1ページの構成とし、日常生活 での実践に結び付けることができるよう配慮されて いる。 (2) 単元のはじめに4コマ漫画が示され、学習内容 に対する問いをもちやすくしたり、「話し合おう」が 設定されていたりするなど、主体的・対話的な学 びを促すよう配慮されている。 (3) 運動領域の「体ほぐしの運動」や、特別の教 科道徳をはじめ、算数、理科、家庭科といった他 教科、他領域の学習との関連が図られるよう配 慮されている。 (4) ページ下部に豆知識を掲載し、課題解決や発 展的な学習に役立つ情報が提示されている。 (5) 特におさえたい基礎的・基本的事項は太字に して強調し、視覚的に理解しやすいよう配慮され ていたり、有名なスポーツ選手のインタビューが 書かれていたりして、興味をひくよう工夫されて いる。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配 列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的 な知識・技能の習 得」のための工夫 、「思考力・判断力 ・表現力等の育成 」のための工夫 、「主体的に学習に 取り組む態度を養 う」ための工夫 、関連性・連続性 、個に応じた指導 、他者との協働 、まとめと評価	(1) 学習内容はねらいに即しており、4年間を見 通して系統的な順序で配列されている。 (2) 第4学年で「体の発育と健康」を学習するこ とを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初 に扱うなど、つながりを意識して学習すること ができるよう工夫されている。 (3) 学習の進め方として「話し合おう」が明記 されていたり、友達の考えを記述するスペース があったりするなど、相互に関わり合いなが ら学習できるよう工夫されている。 (4) けがや病気からの回復について詳しく触れ るなど、心身の健康について学習できるよう配 慮されている。 (5) 保健に関する職業や専門家のキャラクター のつぶやきが、児童の主体的な学びをサポー トし、実践につながるよう工夫されている。 (6) 大単元の終わりに「学習のまとめ」が設定 され、自分の生活に生かしたいことをまとめ る機会を設けるなど、知識の習得から今後の 日常生活の活用へと学びが深まるよう工夫さ れている。
4 全体的な特色	・学習の進め方が明確に示され、友達と考 え合う学習活動が保障されるなど、他者と 交流しながら学べるよう工夫されている。 ・学習の流れが分かりやすいように紙面を 構成し、基礎的・基礎的な知識・技能を 習得できるように工夫されている。

(種目：保健)

発行者名 採択基準	学研みらい (みんなの保健)
1 教科の目標からの配慮	・生活を振り返ったり、実習などの活動を取り入れたりする配慮があり、他者との交流する場面が位置づけられている。 ・生活と重ねて自分事として考えたり、他教科と関連付けたりして、主体的に実践意欲を高められるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 1時間の学習内容を見開きにまとめ、3～4年ではチェック欄を設けるなど、学年に応じた構成の工夫がされている。 (2) 身近な生活場面の写真と自己の生活を重ねながら問いを設定できるようにし、「調べる」「話し合う」などの活動により、主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。 (3) 不安や悩みの対処では「体ほぐしの運動」の例を紹介したり、他教科との関連を示したりして、実感を伴って理解できるよう配慮されている。 (4) 学習に関連するキャラクターを登場させたり、関連する情報の掲載やマークを使って学習の仕方をサポートしたりするなど、児童が学びやすいように工夫されている。 (5) 写真やイラストにより場面や状況を視覚的にイメージしやすくし、学習意欲を高められるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 学習指導要領の内容に即した事例を取り上げ、系統的な順序で配列されている。 (2) 第4学年で「体の発育・発達」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱うなど、つながりを意識して学習することができるよう工夫されている。 (3) 「おうちで」や「ちいきで」では、家庭や地域での取組例を示して生活場面での実践につなげたり、多様な学習形態により、関わりながら主体的に学習を進めたりできるよう工夫されている。 (4) 不安やなやみへの対処法をくわしく説明したり、「けがの手当て」では、自分でできる簡単な手当ての方法について解説し、実践に結び付けられるよう配慮されたりしている。 (5) 写真やイラストを用いて、生活場面をイメージしたり実習をして結び付けたりしながら、児童が考えやすいよう工夫されている。 (6) 「ふり返る」「深める」「つなげる」が大単元のまとめとして位置づけられ、知識の習得や思考力の育成、主体的な態度について確認するとともに、生活に生かせるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・日々の生活行動を振り返り、健康との関連から課題を見出し、他者と交流しながら学びを深めていけるよう工夫されている。 ・学習内容の補足や発展的な内容を、見開きページで資料として提示し、主体的な学習をサポートするよう工夫されている。